

令和4年度 一般社団法人横浜市都筑区医師会 事業結果

基本方針

横浜市都筑区医師会は、都筑区を中心とする地域住民の医療・保健・福祉の向上に関する事業を行う さらに震災等災害発生時には行政と協力し救護活動を行う また医師相互の協調と連携を深め、日々進歩する医療・医学の専門家集団として使命を果たすべく誠心誠意努力する

2023/6/7

事業費

公1 地域医療及び地域保健事業

地域医療・地域保健の向上を目的として、あらゆる分野で市民と直接対話し、情報提供を行うことで、疾病の早期発見・予防に繋げ、市民が安心して日常生活を送れるよう健康管理を行っている
 感染症の定点観測に積極的に協力することで、いち早く感染症の実態を把握し、正しい情報を市民に提供し、感染症予防・拡大防止を図る
 健診により市民の健康管理の意識を高めると共に、心電図判定、二次読影による専門家の関与で重症化を防ぐ
 赤ちゃん会・養育ネットワーク・保育園医・学校医・産業医活動を通じて、直接市民の相談に応じ、不安の解消に務めるとともに、講演会・勉強会により市民に健康に関する知識の普及を図る

補 感染症サーベイランス

感染症の発生拡大を防ぐため早期に市民に対して情報提供を目的として、横浜市衛生研究所に協力して、区内の登録医療機関において感染症発生情報を収集し報告を行う
 まとめられた情報は、当会ホームページにおいて情報提供するとともに各医療機関においては患者に注意喚起を促し、あわせて予防に関する知識の提供を行う（敬称略）

小	水野恭一、 大山 学、 山下恒久、 栗屋敬之、 豊田彰史、
内	斉木和夫・小川憲章、 長田展明、 小林雅子
眼	上川床総一郎
S T D	小川公一、 林 康子

補 乳幼児健診・予防接種

赤ちゃん会への医師派遣協力
 乳幼児の病気の予防と早期発見及び健康の保持・健康の増進を目的として、4カ月健診、1歳半健診、3歳健診をそれぞれ毎月1、2回医師の派遣協力の実施
 幼児虐待の早期発見や体調の変化が激しい乳幼児等の情報提供を行う
 （中止日には、取消線）

4か月児健診 (火) 13:15~14:45	令和4年4月5日 ・19日	令和4年5月10日	令和4年5月24日	令和4年6月7日	令和4年6月21日	令和4年7月5日	令和4年7月26日	令和4年8月2日	令和4年8月23日	令和4年8月30日	令和4年9月13日	令和4年9月27日
	令和4年10月4日 ・25日	令和4年11月8日	令和4年11月29日	令和4年12月6日	令和4年12月20日	令和5年1月10日	令和5年1月24日	令和5年2月7日	令和5年2月21日	令和5年3月7日	令和5年3月14日	令和5年3月28日
1歳6か月児健診 (木) 10:15~11:45	令和4年4月7日 ・21日	令和4年4月28日 13:15~14:45	令和4年5月12日 ・26日	令和4年6月2日 13:15~14:45	令和4年6月23日	令和4年7月7日	令和4年7月28日	令和4年8月4日	令和4年8月25日	令和4年9月1日	令和4年9月8日 13:15~14:45	令和4年9月29日
	令和4年10月6日 ・20日・27日	令和4年11月10日	令和4年11月24日	令和4年12月1日 13:15~14:45	令和4年12月22日	令和5年1月12日	令和5年1月26日	令和5年2月9日	令和5年2月16日	令和5年3月9日	令和5年3月16日	令和5年3月30日 13:15~14:45
3歳児健診 (木) 13:15~14:45	令和4年4月7日 ・21日	令和4年5月12日 ・26日	令和4年6月9日	令和4年6月23日	令和4年6月30日	令和4年7月7日	令和4年7月14日	令和4年7月28日	令和4年8月4日 ・25日	令和4年9月1日	令和4年9月15日	令和4年9月29日
	令和4年10月6日 ・20日・27日	令和4年11月10日	令和4年11月17日	令和4年11月24日	令和4年12月8日 ・22日	令和5年1月5日	令和5年1月12日	令和5年1月26日	令和5年2月9日	令和5年2月16日	令和5年3月9日	令和5年3月16日

補 学校心臓検診心電図判定

都筑区内の公立小学校1年生、中学1年生の全児童及び1年生児検診で要経過観察とされた児童の心電図の判定を行う
 心疾患をもつ児童の学校活動での運動強度の管理指導を行う
 先天性心疾患の早期発見、致死性不整脈の早期発見によって、児童の突然死を予防することを目的としている

30校 4,062人を判定した
区責任者：百々秀心 市検討委員：大山 学
判定委員：大上学、 小林賢司、 斉木和夫、 佐々木治、 百々秀心、 山下恒久、 曾我恭司

補 肺がん検診二次読影会

横浜市が実施している肺がん検診のX-Pのチェックを月3回行っている
 専門医によるX-P読影により、肺がん検診の精度を上げることで肺がんの見落とし防止・早期発見に繋がり地域住民の健康維持に寄与している

	令和4年度	4月			5月			6月			7月			8月			9月			小計(4月~9月)
実施日		4月7日	4月12日	4月26日	5月10日	5月12日	5月24日	6月2日	6月14日	6月28日	7月7日	7月12日	7月26日	8月4日	8月9日	8月23日	9月1日	9月13日	9月27日	—
二次読影医出席人数		2	4	4	4	2	4	2	4	4	2	4	4	2	4	4	2	4	3	59

提出医療機関数	19	22	18	16	9	19	15	23	23	11	22	21	13	21	19	9	22	22	—
読影件数(人数) デジタル	191	185	87	62	45	86	54	230	219	48	116	160	81	101	121	47	227	222	2,282
読影件数(人数) フィルム	0	0	0	0	0	2	0	6	6	0	5	3	0	3	1	0	5	9	40
読影件数合計	191	185	87	62	45	88	54	236	225	48	121	163	81	104	122	47	232	231	2,322
フィルム枚数	0	0	0	0	0	4	0	12	12	0	10	6	0	6	2	0	10	18	80
開始時間(24時間表記)	18:30	19:30	19:30	19:30	18:23	19:28	18:30	19:25	19:30	18:20	19:12	19:27	18:20	19:23	19:28	18:14	19:28	19:30	—
終了時間(24時間表記)	19:20	20:04	19:47	19:45	18:45	19:53	18:55	20:25	20:17	18:40	19:45	20:03	19:00	19:50	19:57	18:35	20:05	20:20	—
読影実施時間	0:50	0:34	0:17	0:15	0:22	0:25	0:25	1:00	0:47	0:20	0:33	0:36	0:40	0:27	0:29	0:21	0:37	0:50	—

令和4年度	10月			11月			12月			1月			2月			3月			小計(10月~3月)	累計(令和3年4月~令和4年3月)
実施日	10月6日	10月11日	10月25日	11月8日	11月10日	11月22日	12月1日	12月13日	12月27日	1月5日	1月10日	1月24日	2月2日	2月14日	2月28日	3月2日	3月14日	3月28日	—	—
二次読影医出席人数	2	4	4	4	1	4	2	4	4	1	4	4	2	4	4	2	4	4	58	117
提出医療機関数	14	22	22	24	11	22	16	23	20	9	19	23	15	23	23	12	23	22	—	—
読影件数(人数) デジタル	96	187	297	298	72	257	151	294	196	47	129	208	99	259	221	66	230	292	3,399	5,681
読影件数(人数) フィルム	0	11	14	11	0	10	0	10	6	0	0	3	0	9	2	0	2	0	78	118
読影件数合計	96	198	311	309	72	267	151	304	202	47	129	211	99	268	223	66	232	292	3,477	5,799
フィルム枚数	0	22	28	22	0	20	0	20	12	0	0	6	0	18	4	0	4	0	156	236
開始時間(24時間表記)	18:17	19:30	19:24	19:23	18:00	19:22	18:18	19:22	19:23	18:30	19:25	19:29	18:10	19:28	19:25	18:16	19:25	19:20	—	—
終了時間(24時間表記)	19:05	20:05	20:25	20:21	18:28	20:10	19:35	20:25	20:00	18:52	19:51	20:13	18:50	20:20	20:05	18:45	20:12	20:15	—	—
読影実施時間	0:48	0:35	1:01	0:58	0:28	0:48	1:17	1:03	0:37	0:22	0:26	0:44	0:40	0:52	0:40	0:29	0:47	0:55	—	—

赤ちゃん会

0歳児を持つ保護者、特に初めて出産した母親を対象として行政が実施する赤ちゃん会のうち、年10数回については医師会館で行われている
 赤ちゃんとの手遊びや育児の情報交換、仲間づくりなどを目的に実施されるが、本会からも医師が出勤し健康相談に応じるなど、保護者の不安を解消し、
 よりよい育児が行えるようサポートしている
 今年度より別の会場開催

養育ネットワーク

福祉保健センターからの要請により、小児科標榜医が中心となってテーマに沿った内容で講話を行う
 赤ちゃん会への医師派遣協力(敬称略)
 今年度、開催無し

補 保育園医

主に区内の横浜市立保育園や私立保育園において園医として園児の健診等を実施し、健康管理、情報提供を行っている
 園長及びスタッフが日常業務での不明点や注意点などを医師に相談したり、勉強会や講演会、ミニレクチャーなどを実施することで、保護者に対する
 情報提供及び乳幼児の健康維持に役立っている
 園長と園医との意見交換会及び講演会の実施(敬称略)
 都筑区保育園医部会 研修会
 日時:12月2日(木) 19:30~ @理事長室(医師3名)とWeb(Zoom) 医師4名 保育園関係者 6名
 演題:「こどもの食物アレルギーに関して」
 講師:横浜労災病院小児科 小笹浩二

補 学校医

区内の横浜市立小・中学校において学校医を推薦・派遣し、児童・生徒の健康管理を行っている
 研修会、教員及び養護教諭との連絡会が開催され、児童・生徒の健康維持を促進するためにどうすべきか情報交換を行っている
 学校保健会の研修会等の開催に協力し、毎年2回講師を派遣しPTA向けの講演会を通して児童・生徒の健康管理について学び、また保護者自身の
 健康管理にも寄与している
 【書面】学校保健会都筑支部「総会」7月 コロナ禍のため、研修会等なし

補 産業医

産業医は従業員50人以上の企業に対して義務付けられている為、区内企業からの要望により日本医師会認定産業医の資格のある会員を推薦、派遣を行う
 横浜北地域産業保健センターで行われる産業医を雇えない中小企業向けの無料の健康相談事業に協力し、多くの労働者の健康維持に役立っている(敬称略)

魚屋万年堂：センター北ユアクリニック 栗栖純穂

都筑阪急：センター北ユアクリニック 栗栖純穂

継1 市民向け情報提供事業

市民に有益な情報を発信することにより、ひとりひとりの健康管理・健康維持の意識向上の助けをする

正しい情報・知識を与えることで、過大な不安を解消することで、真に医療及び介護を必要としている人の受診及び利用機会をつくる

補 都筑区民まつり

横浜市営地下鉄「センター南駅」までの広範囲にわたって行われる都筑区民まつりにおいて、「健康相談コーナー」のブースを設け、区民の健康に対する

不安を解消し、健康管理・健康維持の意識向上のために健康相談を行う（全市一斉健康相談の実施）

地域住民の健康増進、福祉の向上、地域振興等をはかる

令和4年11月3日（木・祝）10:00～15:00 @センター南駅前広場にて（今年度担当：新入会員）

相談者：81名 出動医（敬称略）：福元 晃 石塚 丈広 林 圭一郎 佐伯 典之

広報誌こんにちは

機関紙として、ご利用者・ご家族や関連機関の方々に、当事業所をご理解頂き、親しみをを持って頂くために毎月発行している

内容は、事業所内部の行事や勉強会開催について、職員について、介護等の豆知識、又は、制度等の変更についてのお知らせなど多岐に渡る

利用者への配布と共に不特定かつ多数の人々も閲覧することができるように本会のホームページにも掲載する

月1回更新（計12回更新）

補 在宅事業部門事例発表会

本会が主催となり区内全介護保険事業所に参加を呼びかけ、事例発表及び在宅養関連の講演会を開催する（介護保険利用者を含め毎年70～80名の参加）（敬称略）

令和4年10月22日（土）13:00～ @会議室とZoom 第24回事例発表会

講師：心理療法士・公認心理士 認定NPO法人マギーズ東京理事 がん・感染症センター都立駒込病院緩和ケア科 栗原 幸江

内容：「よく聴く」ということ ～利用者の想いに寄り添う支援者の姿勢～

参加者：54名（集合 45名、Zoom 9名）

予防接種及び検診等の実施医療機関のお知らせ

高齢者インフルエンザ…夏に取りまとめを行い、市医に提出 結果は下記URLにて公表される

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/yobosesshu/koureiinflu.html>

成人用肺炎球菌ワクチン…夏に取りまとめを行い、市医に提出 結果は下記URLにて公表される

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/yobosesshu/seiijinhaikyuu.html>

麻しん・風しん混合ワクチン及び風しん抗体検査…発生についての案内を会員に周知 協力医療機関は下記URLにて公表されている

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/yobosesshu/masinhusin.html>

子どもの予防接種（ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、ロタウイルス、四種（二種）混合、BCG、麻しん風しん[MR]、水痘、日本脳炎、子宮頸がん[HPV]）

…申請様式の希望があれば配布して市医に提出 協力医療機関は下記URLにて公表されている

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/yobosesshu/child.html>

各種健診・検診（横浜市健康診査、肝炎検査、前立腺がん、胃がん、子宮がん、乳がん、大腸がん、肺がん）…年度末に実施希望を確認 実施医療機関には逐次検診用紙を準備する

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/kenshin-kensa/kakushu/top.html>

補 市民医学講演会

地域医療連携推進の一環として、行政の共催を受け、一般市民を対象にした講演会を年1回開催

令和4年10月23日（日）14:00～16:00 @横浜市歴史博物館 講堂 と Zoom

講師：医療法人桑樹会 木村内科・胃腸内科 理事長・院長 木村 貴純

内容：腸～気持ちいい!! 快便目指して 最新のうんち(く)話

参加者：105名

補	救命講習会
	対市民向け心肺蘇生救命講習会を実施（今年度は開催なし）
継2 災害対策事業	
大規模災害発生時に想定される傷病者の救命・救護のため、地域救護拠点の体制を整え、合わせて地域住民に対して非常時にも冷静に対処できるよう実施訓練を通して初期医療の重要性を認識させことに努める	
防災訓練実施協力	
令和4年度都筑区災害医療対策訓練（情報伝達訓練）協力	
令和5年3月13日（月）9:30～15:00（この時間内に可能な通信手段で情報伝達訓練を行う）	
災害時に各医療機関毎に黄旗を掲げて診療する方針転換のため、開設状況を区役所福祉保健課宛に可能な通信手段全てで連絡する訓練	
参加医療機関 18施設（うち開設は14施設と連絡）	
防災救護拠点	
被災直後に仮設救護所として休日急患診療所を使用できるよう、また医療活動拠点として情報収集が可能であるよう体制を整える	
情報受伝達訓練（偶数月第1木曜日）	
・4月21日（木） ・〈MOA無線のみ〉6月2日（木） ・8月4日（木） ・10月6日（木） ・12月1日（木） ・2月2日（木）	
防災医療講演会：今年はなし	
危機管理対策協議会	
災害医療連絡会議	
災害発生時すぐに対応できるよう区役所、中核病院、消防、警察、歯科医師会、薬剤師会と協力し体制づくりをしている	
1	地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会の開催（親会議） 1月26日（水） 都筑区役所5階特別会議室
2	都筑区災害医療体制見直しプロジェクト会議の開催 10月26日（火） 11月17日（水） 12月21日（火） 2月1日（火）
都筑区新型コロナウイルス感染症対策実務者連絡会：緊急事態において、情報共有を速やかに行い実務的な調整を通じて、地域住民の安全や健康を保持し、医療福祉介護従事者が感染や事故等に巻き込まれずに活動ができるよう対応をする	
13:30～ @理事室長（+Zoom）	第24回 4月26日（火） 深澤 立 福元 晃 小林雅子 小川憲章 高山瑠衣 行政3名 北部病院1名 薬剤師会1名 医師会在宅部門2名
	第25回 5月24日（火） 深澤 立 福元 晃 小林雅子 小川憲章 高山瑠衣 行政3名 北部病院1名 薬剤師会3名 医師会在宅部門1名
	第26回 6月21日（火） 深澤 立 福元 晃 小林雅子 小川憲章 行政1名 北部病院1名 薬剤師会1名 医師会在宅部門2名
	第27回 7月26日（火）14:30～ 深澤 立 福元 晃 小林雅子 小川憲章 高山瑠衣 行政1名 北部病院0名 薬剤師会1名 医師会在宅部門2名
	第28回 8月30日（火） 深澤 立 小川憲章 福元 晃 高山瑠衣 行政3名 北部病院1名 薬剤師会1名 医師会在宅部門1名
	第29回 9月20日（火） 深澤 立 小川憲章 福元 晃 小林雅子 行政3名 北部病院1名 薬剤師会1名 医師会在宅部門2名
	第30回 10月25日（火） 深澤 立 小川憲章 福元 晃 小林雅子 行政1名 北部病院1名 薬剤師会1名 医師会在宅部門2名
	第31回 11月29日（火） 深澤 立 小川憲章 小林雅子 高山瑠衣 行政2名（区役所1、消防署1） 北部病院1名 薬剤師会1名 医師会在宅部門2名
	第32回 12月20日（火） 深澤 立 小川憲章 福元 晃 小林雅子 高山瑠衣 行政4名（区役所3、消防署1） 北部病院1名 薬剤師会1名 医師会在宅部門2名
	第33回 1月24日（火） 深澤 立 小川憲章 福元 晃 小林雅子 高山瑠衣 行政4名（区役所3、消防署1） 薬剤師会1名 医師会在宅部門2名
	第34回 2月21日（火） 深澤 立 小川憲章 福元 晃 行政6名（区役所3、消防署3） 北部病院1名 薬剤師会1名 医師会在宅部門1名
	第35回 3月28日（火） 深澤 立 小川憲章 福元 晃 小林雅子 高山瑠衣 行政8名（区役所5、消防署3） 北部病院1名 薬剤師会2名 医師会在宅部門1名
災害医療コーディネーター委員会：今年はなし	
災害支援	
災害地への寄付	
トルコシリア地震支援金（休日診にて）	
消防署との情報交換会	
消防署救急隊連絡会	
消防署上層部との連絡会（敬称略）	
今年度は開催せず	
警察署との情報交換会	
警察署上層部との連絡会	

医務嘱託医、検視医の派遣協力（敬称略）
今年度は開催せず

歯科医師会・薬剤師会との情報交換【三師会】

医療者である医師、歯科医師、薬剤師の三者がより緊密な協力体制をとり、地域の保健・医療・福祉・介護の向上に寄与するとともに、三師会会員の学術振興、相互の親睦等を深め、医療界の様々な変化に対応し、連携を確立することを目的とする

会議： 20：00～ @理事長室 5月23日（月） 【総会】7月26日（火） 9月27日（火）

歯科医師3名、薬剤師3名、村上浩、深澤立、福元晃、小林雅子、村上昇、吉井涼子

研修会： 6月21日（火） 19：30～ @Web（Zoom）

テーマ：『コロナ禍における現状とこれから～コロナが広がる前後で変わったこと、かわらなかったこと～』

座談会： 医師会 深澤立 村上浩 小林雅子 福元晃

歯科医師会 宮川智行 鳥居圭司 二宮威重

薬剤師会 木村久美子 伊丹久典 渡辺美穂

11月15日（火） 19：30～ @Web（Zoom）

講演Ⅰ 内容『糖尿病薬の選択方法 ～特に初期治療の流れについて』 座長：村上浩（都筑区医師会 副会長/座長：村上内科クリニック院長） 演者：鶴谷悠也（横浜労災病院 糖尿病内科 部長）

講演Ⅱ 内容『危機管理時の糖尿病治療について』 座長：鳥居圭司 先（座長：鳥居歯科医院 院長） 演者：比嘉真理子（糖尿病・内分泌内科総合診療科専門部長）

講演Ⅲ 内容『災害時における歯科医師の活動について』 座長：伊丹久典（座長：都筑せきれい薬局） 演者：宮川智行（都筑区歯科医師会長 宮川歯科医院 院長）

ディスカッション 司会進行：深澤立（都筑区医師会会長/深澤 りつ クリニック 院長） 木村 久美子（都筑区薬剤師会会長/せせらぎ薬局） 三師会

鶴谷 悠也 比嘉 真理子 宮川智行

経3 地域医療及び地域保健連携事業

地域の医療・介護に真摯に向き合い、行政、基幹病院、かかりつけ医、在宅事業者など地域医療・介護を担うあらゆる分野の専門家が連携を取り、協力し合うことでそれぞれの役割を明確にし、医療・介護の質を向上させ、患者・利用者の精神的、身体的負担を減らすことに努める

在宅医療連絡会

ケアネットつづき医療連携協賛金

在宅医療を実施している医師の勉強会、連携体制の整備、現状の説明会、基幹病院との連絡会、区内在宅事業者との連絡会などを通じて在宅医療を取り巻く様々な課題を解決し在宅医療の利用者によりよい医療を提供する

在宅医療講演会（ケアネットつづき医療連携研修）年4回

第1回 研修会：令和5年1月23日（木）19：30～ @会議室 第2回 研修会：令和5年3月23日（木）19：30～ @会議室

認知症サポート医事業

高齢者保健福祉として「認知症サポート医」を登録し協力（現在5名）

認知症の方を抱えている家族の活動を支援する為に広報活動を区役所と協力している医師（認知症サポート医）を支援し、

療養中の認知症の方及びその家族へのサポート体制を充実させる

認知症サポート連絡会及び都筑区役所が主催する認知症フォーラムにおいて、講師として参加し、市民に認知症に対する理解を深めてもらうことに努めている

連絡会：第25回：令和4年5月31日（火）19：30～ 第26回：令和4年8月30日（火）19：30～ 第27回：令和4年11月29日（火）19：30～ 第28回：令和4年12月15日（火）19：30～ 第29回：令和5年2月28日（火）19：30～

研修会：令和5年1月31日（火）19：30～ オンライン（Zoom）

『高齢者にみられる精神症状の理解』 講師：青山洋（リンクスマンタルクリニック 院長/横浜国立大学教育人間科学部 非常勤講師）

：令和5年3月28日（火）19：30～ @会議室とオンライン（Zoom）ハイブリット

『神経内科的に治る認知症』 講師：原一（ウエルケアはら脳神経内科 院長）

地域基幹病院との運営協議会、幹事会

地域中核病院との連絡協議会、幹事会等を実施

近隣病院との「連携の会」等を実施

患者をはじめとする地域住民が効率よく医療機関を利用し最善の医療を受けられるように、毎月、地域基幹病院である北部病院との協議を重ね、

連携強化及び情報収集を行っている

昭和大学横浜市北部病院

	都筑区地域連携協議会幹事会	都筑区地域連携協議会	地域医療支援病院運営協議会	地域医療連携フォーラム
	第68回 令和4年4月26日（火）19：30	第39回 令和4年5月17日（火）19：30（Web）	第42回 令和4年6月8日（金）19：30（書面）	第24回 令和4年6月23日（木）19：30（Web）
	第69回 令和4年10月4日（火）19：30（Web）	第40回 令和4年10月18日（火）19：30（Web）	第43回 令和4年9月14日（水）19：30（書面）	第25回 令和4年11月24日（木）19：30（Web）
	第70回 令和5年2月7日（火）19：30	第41回 令和5年2月21日（火）19：30（Web併用）	第44回 令和4年12月14日（水）19：30（書面）	第26回 令和5年2月15日（水）19：30（Web）
			第45回 令和5年3月8日（水）19：30	

労災病院			
令和4年7月13日（水）	第62回地域医療支援委員会	令和5年3月22日（水）	第65回地域医療支援委員会
藤が丘病院			
令和5年1月12日（木）	藤が丘連携フォーラム	令和5年2月13日（月）	地域医療支援病院運営協議会

補 福祉保健連絡会

福祉保健センター、北部病院、地域ケアプラザと都筑区医師会員及び職員との意見交換並びに懇談会を実施
 福祉保健連絡会において都筑区福祉保健センター、区内地域ケアプラザ、基幹病院の地域連携室、訪問看護ステーションの看護師、訪問看護福祉士、ケアマネジャー、医師が参加し、地域住民の健康維持のニーズに応えるべく、情報交換会、各事業所の事業報告などを行い医療、保健、福祉の連携を深める

都筑区福祉保健医療活動に係る連絡会

今年度は開催せず

地域ケアプラザ運営協議会

地域ケアプラザ運営協議会委員の出動協力
 葛ヶ谷地域ケアプラザ、東山田ケアプラザ、加賀原ケアプラザ、新栄地域ケアプラザ、中川地域ケアプラザの運営協議会に参加し、高齢者を中心に子どもや障害者が幅広い地域生活を営めるよう、医師の視点から施設の有効利用、町内交流活動の促進等の意見交換を行う

構成メンバーは、地区の町内会、老人会、婦人会、ボランティア団体、障害者団体の各代表が参加（敬称略）

施設名	運営協議会委員	協力医名	代理協力医名	代理協力医名	
横浜市葛が谷地域ケアプラザ	小川憲章（平成29年4月～）	長田展明（令和2年4月～）	神山一行（令和2年4月～）		
東山田地域ケアプラザ	小林雅子（平成27年6月～）	石井 修（令和2年4月～）	小林雅子（令和2年4月～）	高山瑠衣（令和4年4月～）	
横浜市加賀原地域ケアプラザ	村上 浩（平成30年4月～）	神山一行（令和2年4月～）	相川真吾（令和2年4月～）		
横浜市新栄地域ケアプラザ	深澤 立（平成31年4月～）	林 毅（平成20年4月～）	深澤 立（令和2年4月～）	東 浩平（令和2年4月～）	
横浜市中川地域ケアプラザ	福元 晃（平成29年4月～）	深澤 立（令和2年4月～）	福元 晃（令和2年4月～）	小林雅子（令和2年4月～）	
横浜市都田地域ケアプラザ	小林雅子（令和4年4月～）	小林雅子（令和4年4月～）	小川憲章（令和4年4月～）		2022年新設

都筑区地域ケアプラザ 合同オンラインミーティング・・・令和4年12月20日（火）19:45～21:00

介護認定審査会

都筑区審査部会の委員を派遣

@都筑区役所

部 会	第一審査部会	第二審査部会	第三審査部会	第四審査部会	第五審査部会
曜日時間	火 13:15	火 15:30	木 13:15	木 13:30	木 19:00
審査委員	斉木和夫	深澤 立	小林雅子	武田 茂	笠井謙和

他3 その他の医療保健事業

地域住民の福祉と健康を守ることを目的とした地域福祉保健計画推進会議・委員会への出席や地域住民が安心して医療機関を利用し、その後も継続して治療や療養ができるよう病診連携に係る地域連携協議会への出席など、行政等からの要請で会議に出席し医師の立場から意見を述べ地域医療の向上に協力する
 各医会の分野にわかれ、それぞれの分野で最近の話題、注目される事柄を積極的に研究し、最新知識を発信することで地域医療の向上を図る
 学術講演会や勉強会を開催し、知識の研鑽と共に医療現場の現状や課題について情報共有し、地域医療の向上に役立てる

伝達講習会

診療報酬改定に伴う医療機関向けの勉強会を2年に1度開催
 今年度は開催予定年なし

補 社会保険診療懇話会

県医及び市医より講師を招き保険診療に関する情報の周知と理解を目的に実施
 ・診療報酬改定の方向性及び保険診療の現況と今後、保険診療の注意点、審査の査定等について（敬省略）
 令和5年1月24日より配信 @web (Youtube) ※神奈川県医師会によるWeb配信のため集合研修はなし

(1) 『令和4年診療報酬改定の検証～見えてきた問題点と対処方針』 講師：神奈川県医師会 理事 石井 貴士 先生
 (2) 『保健診療の現況』 講師：神奈川県医師会 理事 渡辺 雄幸 先生
 (3) 『国民健康保険における審査の現状』 講師：神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会 会長 山本 裕司 先生

社保部会主催勉強会

正当な保険診療を行うため講演会を行う
今年度は開催せず

北部六区会長・副会長会

横浜北部地域6区の会長・副会長が定期的に会合をもち、各区の状況と具体的な対応について情報を共有する
令和4年12月28日（水）19：30～@HOTEL PLUMM（港）

内科医会（会長：宮崎直道）

診療科別に特化した勉強会を実施 また地域中核病院等と協力し症例検討会等を開催

会員の親交を深め、医学の知識及び情報交換を行う（敬称略）

内科医会連携勉強会幹事会

第1回：令和5年2月13日（月）19：30～ @会議室

宮崎直道 小林雅子 相川真吾 金野 竜太（昭和大学横浜市北部病院）

第2回：令和5年3月20日（月）19：30～ @会議室

宮崎直道 小林雅子 相川真吾 金野 竜太（昭和大学横浜市北部病院）

内科医会講演会

令和4年11月22日（火）19：30～ 都筑区内科医会共催（製薬会社3社） @WebEx

座長：宮崎内科クリニック 宮崎 直道

「大動脈弁狭窄症up to date：隠れたリスクを見逃さないためのコツ」 講師：聖マリアンナ医科大学 循環器内科 准教授 出雲 昌樹

令和5年1月13日（金）12：30～ 都筑区内科医会Web講演会 @Zoom

座長：宮崎内科クリニック 宮崎 直道

「2型糖尿病合併患者の管理－腎臓専門医の立場から」 講師：昭和大学横浜市北部病院 内科腎臓、医学教育学 教授 緒方浩顕

外科医会（会長：岸利昭）

会員相互の友好・親睦を深め、知識及び情報の共有をはかり、自身の向上となる場を提供する

地域中核病院との病診連携の推進と親睦を深める

今年度は開催せず

整形外科医会（会長：吉崎賢一）

診療科別に特化した勉強会を実施 また地域中核病院等と協力し症例検討会等を開催

学術講演会を年2回開催（敬称略）

令和4年12月7日（水） 19：30～ 都筑区整形外科医会学術講演会 @Zoom

一般講演：「当院における膝関節外傷手術症例の経験」 講師：昭和大学横浜市北部病院整形外科 准教授 藤巻 良昌

特別講演：「テリバラチドの生理的な骨代謝促進と整形外科治療に与えるメリット」 講師：香川県済生会病院 副院長 真柴 賢

小児科医会（会長：百々秀心）

北部病院こどもセンター及び小児循環器センターとの連携をはかり、会員の知識の共有及び意見交換会を行う

会員の親交を深め、医学の知識及び情報交換を行う

公1 保育園医師会参照

耳鼻科医会（会長：佐藤成樹）

北部病院との親睦会と症例検討会の開催（年2回）

会員相互の交友・親睦を深め、知識及び情報の共有をはかり、自身の向上となる場を提供する（1年～2回）（敬称略）

令和5年1月18日（水）19：30～ 都筑区耳鼻咽喉科医会 嚥下障害講演会（学術講演会合同） @Zoom

座長：耳鼻咽喉科葛が谷こまクリニック 佐藤 成樹

「嚥下障害について」 講師：横浜市耳鼻咽喉科医会 会長／河合耳鼻咽喉科医院 院長 河合 敏

皮膚科医会（会長：岩村経子）

北部病院との親睦会と症例検討会の開催（年2回）

会員相互の交友・親睦を深め、知識及び情報の共有をはかり、自身の向上となる場を提供する（年1～2回）（敬称略）

都筑区皮膚科医会学術講演会

令和4年12月5日（月）19：30～ @Zoom 座長：岩村綾子（川和皮ふ科 院長）
「コロナ時代の帯状疱疹診療」 講師：愛知医科大学 皮膚科学講座 教授 渡辺 大輔

眼科医会（会長：上川床総一郎）

北部病院との学術講演会と病診連携会の開催
会員の親交を深め、医学の知識及び情報交換を行う
横浜北部地区・昭和大学横浜移補部病院眼科 WEB眼科地域連携の会
令和4年10月28日（金） 19：30～ @Teams
「眼瞼居拳筋腱膜前転術による惹起角膜乱視の検討」 講師：昭和大学横浜市北部病院 和田清花
参加人数 22名

産婦人科医会（会長：塚原睦亮）

北部病院との症例検討会の開催（年2回）
会員相互の交友・親睦を深め、知識及び情報の共有をはかり、自身の向上となる場を提供する
今年度は開催せず

泌尿器科医会（会長：深澤立）

北部病院及び近隣病院の連携を図る
横浜地区、川崎地区の泌尿器科専門医と連携、知識を共有する勉強、意見交換を目的とした場を作る
泌尿器科以外の医師に泌尿器疾患を中心に知識等の普及を図る
都筑区医師会プライマリケア医会・泌尿器科医会共催講演会
令和4年12月6日（火）19：30～ @Zoom 座長：深澤立（深澤りつクリニック院長）
「高齢者の心身における亜鉛の重要性～栄養医学的アプローチのコツ～」 講師：山口病院精神科 副院長・日本栄養精神医学研究会 会長 奥平智之先生

精神科医会（会長：青山洋）

医療連携及び勉強会日開催
今年度は開催せず

プライマリ・ケア医会（会長：小林雅子）

プライマリケア医としての知識その他を高める事を目的とし、多職種からの知識経験を得る
症候学勉強会、講演会、懇親会の開催
都筑区医師会プライマリケア医会・泌尿器科医会共催講演会
詳細は『泌尿器科医会』参照

会員向け学術講演会（担当：小林雅子）

毎月1回特定の診療科に依存しない勉強会を実施
肺がん検診勉強会（症例検討会）の実施
医療安全研修会において院内感染対策勉強会を実施
・学術講演会（第3水曜日）19:30～（敬称略）

令和4年5月18日	第229回【Web】『慢性腎臓病の連携と治療～かかりつけ医はどこまで連携できるか』	講師：昭和大学横浜市北部病院 腎臓内科 教授 緒方 浩顕
令和4年6月15日	第230回【Web】末期腎不全治療の進歩と課題～透析医・かかりつけ医・在宅医の連携を考える～	講師：昭和大学横浜市北部病院 内科 教授 緒方 浩顕
令和4年7月8日	第232回【Web】「日常診療で診る！蕁麻疹・アレルギー最新情報」	講師：島根大学医学部 皮膚科学講座 准教授 千貫 祐子 ※皮膚開会と合同
令和4年7月13日	第231回【Web】NAFLD診療における糖脂質管理の重要性	講師：横浜市立大学附属病院 国際臨床肝疾患センター 准教授 米田 正人
令和4年8月24日	【中止】	
令和4年9月21日	第233回【Web】「次世代の2型糖尿病の治療戦略」	講師：三浦中央病院 院長 瀧端 正博
令和4年10月19日	第234回【Web】「気管支喘息の診断と治療について」	講師：昭和大学横浜市北部病院 呼吸器センター 教授 松倉 聡
令和4年11月16日	第235回【Web】「手根管症候群の痛みとしびれの治療について」	講師：昭和大学横浜市北部病院 整形外科 講師 酒井 健 ※院内感染対策
令和4年12月21日	第236回【Web】『脳卒中の予防と治療の実践～脳卒中治療ガイドライン2021から～』	講師：聖マリアンナ医科大学 内科学（脳神経内科）教授 秋山 久尚
令和5年1月18日	耳鼻咽喉科医会合同【Web】『嚥下障害について』	詳細は『耳鼻咽喉科医会』参照
令和5年2月15日	第237回【Web併用】『最新の2型糖尿病治療と2型糖尿病を合併する慢性腎臓病について』	講師：浜松医科大学 第二内科 内分泌代謝内科 診療助教 釣谷 大輔
令和5年3月15日	第238回【Web】『アトピー性皮膚炎の最新 UP DATE』	講師：帝京大学医学部溝口病院 皮膚科教授 栗野 嘉弘

グリーフケアモデル事業

大切な人の死別は、人が人生で直面する減少の中でも精神的に打撃の大きな出来事の人つと言われており、心身に及ぼす影響が強く健康障害を招く危機にさらされるにもかかわらず、遺族に対してのケアの手が差し伸べられていない
グリーフケアについて周知することで、地域住民の健康障害を予防し、自立した生活を維持していく支援及び医療への貢献につなげていく

研修会

- 令和4年7月23日（土） 14：00～ @会議室（Web併用） 『遺族会主催のために』 講師：グリーフカウンセラー 加治陽子
- 令和5年2月25日（土） 14：00～ @会議室 『身近な人を亡くした子どものグリーフ』 講師：グリーフカウンセラー 加治陽子
- 令和5年3月25日（土） 14：00～ @会議室 『子を亡くした子どものグリーフ』 講師：グリーフカウンセラー 加治陽子

市民向け講演会

令和4年10月16日（日） 13：30～ @昭和大学横浜市北部病院 西棟4階講堂（Web併用） 『愛しみと共に生きる』 講師：本郷 由美子

遺族会 ラナつづき（グリーフケアサポートの集い） 毎月第2土曜日 14：00～16：00 @リバージュ104号室

令和4年11月12日（土） 令和4年12月10日（土） 令和5年1月14日（土） 令和5年3月11日（土）

その他勉強会

広報委員会

ホームページによる地域住民への広報活動、ディスクロージャー、区内医療機関の検索、理事会速報の報告
GW、お盆期間、年末年始の医療機関応需情報の掲載、役員名簿等の更新

横浜市医師会各事業部会への参加協力

各事業部会への参加協力（敬称略）

- 広報事業部会 横浜市医師会報原稿（今年度は対象者なし）
- 社会保険事業部会 外来感染対策向上加算カンファレンス及び実地訓練（救済措置） 令和5年3月31日（金）20：00～ @会議室
- 情報システム事業部会 IT研修会「文字起こしソフトの利用」について 令和5年3月7日（火）21：00～ @理事長室
- 地域医療事業部会 NBCR対策推進機構 第1回医療従事者・歯科医療者・消防職員等のための複合災害対策講習会 令和4年7月18日（月・祝）9：00～17：00 深澤会長、福元副会長、小林副会長
- 福祉厚生事業部会 横浜DeNAベイスターズシーズンシートチケットを抽選 令和5年3月14日に抽選（6月13日（火）分チケット）

PCR簡易検体採取所（ドライブスルー）

新型コロナウイルス感染症の流行が非常に拡大しており、都筑区休日急患診療所を中心に発熱者外来やPCR検査センターを、都筑区役所と協力して立ち上げ、
早期対応、病院の負担を減らして医療崩壊を防ぎ、区民の健康をしっかりと守る

PCRセンター実施 ※左が受検者数・右が陽性者数 ※『×』は『中止』

4月1日（金）	4月8日（金）	4月15日（金）×
1 0	1 1	- -
5月6日（金）×	5月13日（金）	5月27日（金）
- -	1 0	3 0
6月3日（金）×	6月10日（金）×	6月24日（金）
- -	- -	1 0

令和4年6月で終了（横浜市医師会全体）

新型コロナウイルスワクチン集団接種

新型コロナウイルス感染症の流行が非常に拡大しており、横浜市からの協力依頼により市民へのワクチン接種を促進
早期対応、病院の負担を減らして医療崩壊を防ぎ、区民の健康をしっかりと守る

出勤医 のべ169名 場所・・・センター南 食品館あおば（パインクリエイトビル）

日付	4月14日	4月14日	4月16日	4月16日	4月17日	4月17日	5月7日	5月7日	5月8日	5月8日	5月28日	5月28日	5月29日	5月29日
時間帯	午前	午後	午後	夜間	午前	午後	午後	夜間	午前	午後	午後	夜間	午前	午後
曜日	木	木	土	土	日	日	土	土	日	日	土	土	日	日
日付	6月18日	6月18日	7月7日	7月7日	7月9日	7月9日	7月28日	7月28日	7月30日	7月30日	8月18日	8月18日	8月20日	8月20日
時間帯	午後	夜間	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
曜日	土	土	木	木	土	土	木	木	土	土	木	木	土	土

日付	9月10日	9月10日	10月8日	10月8日	10月27日	10月27日	10月27日	10月29日	10月29日	11月17日	11月17日	11月17日	12月8日	12月8日
時間帯	午前	午後	午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後
曜日	土	土	土	土	木	木	木	土	土	木	木	木	木	木
日付	12月10日	12月10日	1月7日	1月7日	1月28日	1月28日	2月4日	2月18日	2月18日					
時間帯	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午後	午前	午後					
曜日	土	土	土	土	土	土	土	土	土					

令和5年2月25日で終了

他4 会員福利厚生事業

会員相互の親睦を図る目的で、野球部及びゴルフ部のクラブ活動、納涼会・新年会等を実施すると共に、会員の利便性を高める目的で会報誌の発行などの会員福祉事業を行う

野球部

横浜市医師会野球部と合同練習及び対外試合の実施
 横浜市医師会・富士市医師会・南アルプス市医師会の三市医師会親睦野球大会への参加
 高齢化につき無し

ゴルフ部

会員の親睦を深めるため年2～3回開催（敬称略）
 ゴルフ部（世話人：伊東文行、栗栖純穂）
 今年度は開催せず

納涼会、新年会

医師会員の福利厚生に関すること
 納涼会（在宅事業部門主催） 今年度は開催せず
 忘年会（在宅事業部門主催） 今年度は開催せず

会報誌発行

会報誌の発行（年1～2回発行）
 第39・40合併号 会長の指示により発行延期

漢方勉強会

漢方治療に興味のある先生によるアットホームでざっくばらんな漢方の勉強会
 今年度は開催せず

班会

班編成：6班 地区毎に医療機関を班編成し、情報収集や被災時などの対応を共有する（敬称略）

	第1班	第2班	第3班	第4班	第5班	第6班
班長	佐藤 和己	勝野 雅弘	稲葉 鋭	吉家 大亮	土屋 優子	門倉 光隆
副班長	村上 昇	竹内 正弥	安藤 直子	石井 修	王 紹英	—
	青山 洋	橋本 佳子	栗屋 敬之	—	—	—
担当副会長	福元 晃	深澤 立	小林 雅子	小川 憲章	村上 浩	—

【書面会議】第1班班会 令和5年 3月 8日（水）
 【書面会議】第2班班会 令和4年 11月 15日（火） 令和5年 3月 22日（水）
 【書面会議】第5班班会 令和4年 7月 1日（金） 令和4年 9月 7日（水）

つづき秋の会

次年度より周年開催へ変更
 令和4年11月19日（土）@ロイヤルパークホテル 開宴18：30 出席者120名

会員褒章規程による表彰及び慶弔金

褒章規程による表彰（令和4年度対象者18名）
 神奈川県医師会 厚生労働大臣表彰（社保） 授賞 成島 道昭

神奈川県医師会 母子保健功労者表彰 (母子愛育会会長表彰)	授賞	大山クリニック 大山 学
神奈川県学校保健功労者表彰		
横浜市医師会 長寿会員70歳表彰		
横浜浜市医師会 学校医在籍30年表彰		
神奈川県医師会 神奈川県保健衛生表彰	授賞	小川メディカルクリニック 小川 憲章
神奈川県医師会 神奈川県学校保健功労者表彰	授賞	仲町台駅前眼科クリニック 上川床 優子
神奈川県教育委員会表彰		
神奈川県教育委員会表彰	授賞	大久保 直樹
神奈川県教育委員会表彰	授賞	小林クリニック 小林 雅子
横浜市医師会 長寿会員77歳表彰	授賞	出口 久次
横浜市医師会 長寿会員77歳表彰	授賞	仲町台耳鼻咽喉科 渡辺 英男
横浜市医師会 長寿会員70歳表彰	授賞	田崎医院 田崎 博也
横浜市医師会 長寿会員70歳表彰	授賞	創光会松浦内科 松浦 秀光
横浜市医師会 長寿会員70歳表彰	授賞	宮崎内科クリニック 宮崎 直道
横浜市医師会 長寿会員70歳表彰	授賞	山本記念会山本記念病院 山本 百合子
横浜市医師会北部夜間急病センター 出動協力 100回以上	授賞	ただ内科 多田 博己
横浜市医師会北部夜間急病センター 出動協力 100回以上	授賞	センター南クリニック 武田 茂
横浜市医師会 学校医永年勤続退職	授賞	濱田 幸雄
横浜市医師会 学校医永年勤続退職	授賞	心身霊整合性医療サイ・クリニック 井泉 尊治
横浜浜市医師会 学校医在籍20年表彰	授賞	明澄会しまもと眼科 島元 理光
横浜浜市医師会 学校医在籍10年表彰	授賞	たちはら眼科クリニック 立原 蘭

在宅医療連携拠点事業 (公益目的支出計画対象外の為 他3)

都筑区在宅医療相談室

1) 相談・支援業務	⇒	相談件数115件/年 (内 かかりつけ医・往診・訪問診療の紹介63件/年 訪問看護紹介38件/年)
ア 退院時支援	⇒	病院からの依頼 訪問診療の紹介18件/年・訪問看護21件/年
イ 地域包括支援センター・ケアマネジャー等からの相談・支援	⇒	地域包括支援センター12件/年 ケアマネジャー22件/年
ウ 情報支援		
2) 医療連携・多職種連携業務		
ア かかりつけ医のバックアップの仕組みの確保・強化	⇒	独自システムの利用希望なし
イ 在宅患者急変時の緊急一時入院に対応する病院との連携	⇒	市への報告なし
ウ かかりつけ医の在宅医療研修の企画・実施	⇒	3回実施 ACPについては: 5/30(月)参加39名、 各医療機関のACP事情: 10/24(月)参加45名、 在宅におけるオピオイド・スイッチング: 2/1(水)参加45名
エ 多職種間での連携会議・事例検討	⇒	都筑区医師会地域多職種連携協議会総会7月、3月・幹事会 毎月(7月、3月を除く) 様々な手法での事例検討 4回開催 7/8(金)17名、 KITメソッド: 11/2(水)22名 ・ 2/20(月)21名 見える事例検討会: 12/15(木)32名
オ 地域ケアプラザとの連携強化	⇒	加賀原地域ケアプラザ圏域カンファレンス6回、川和地区福祉ネットワーク会議4回、川和地区ケアプラザ地域ケア会議6/9、 中川地域ケアプラザ運営協議会7/15、東山田地域ケアプラザエリア連絡会5/19
カ ストーマケアにおける連絡会	⇒	着手できず
3) 市民啓発業務	⇒	「いのちの寄り添う ～その人らしい最期の時間～」 2/5(日) Zoom限定開催、参加60名

管理費 法人を運営するため

法人会計共通

総会					
定時総会 (決算)、また臨時総会として予算総会を実施					
1)	定時総会 (令和3年度決算、事業結果報告、令和4年度予算、令和4年度事業計画)				
	令和4年6月17日 (金) 19:30 @会議室				
理事会					
毎月1回 (原則第3木曜日の翌日) 開催					
1)	定例会 20:00～ @理事長室				
	4月22日 (金)	5月20日 (金)	6月17日 (金)	7月22日 (金)	9月16日 (金)
	10月21日 (金)	11月25日 (金)	12月16日 (金)	1月20日 (金)	2月17日 (金) 3月17日 (金)

企画会議

毎週火曜日に開催

1) 定例会 13:30~ @理事長室 ★は臨時

令和4年	4月 5日 (火)	4月12日 (火)	4月19日 (火)	
	5月10日 (火)	5月17日 (火)	5月31日 (火)	
	6月 7日 (火)	6月14日 (火)	6月28日 (火)	6月29日 (火)
	7月 5日 (火)	7月12日 (火)	7月19日 (火)	
	8月 2日 (火)	8月23日 (火)		8月31日 (火)
	9月 6日 (火)	9月13日 (火)	9月27日 (火)	
	10月 4日 (火)	10月11日 (火)	10月18日 (火)	
	11月 1日 (火)	11月 8日 (火)	11月15日 (火)	11月22日 (火)
	12月 6日 (火)	12月13日 (火)		
令和5年	1月10日 (火)	1月17日 (火)	1月31日 (火)	
	2月 7日 (火)	2月14日 (火)	2月28日 (火)	
	3月 7日 (火)	3月14日 (火)	3月28日 (火)	

会計監査

年1回開催

令和4年5月26日(木) 19:30 @理事長室

※(関連事項) 士業事務所との打合せ...会計事務所=月次処理25日前後1回・会計報告会月末月初のいずれか1回、社会保険労務士月1回

役員報酬

年1回

規定通り12月に支給

交際費

消防出初式 協賛金・会長の登壇(実行委員会として)・・・令和5年1月6日(金)@都筑公会堂
 センター北まつり・・・令和5年3月18・19日(土・日)
 都筑区懇話会・・・令和5年1月16日(月)@グレイスホテル
 開所式・内覧会・・・保土ヶ谷区医師会館開所式
 忘年会・新年会・・・都筑区役所新年賀詞交歓会、横浜市病院協会新年祝賀会、都筑区懇話会新年会、都筑区消防団との新春意見交換会、さかえ如月の会(栄区医師会)
 式典等・・・緑区医師会50周年記念式典、瀬谷区医師会50周年記念式典、神奈川区医師会50周年記念式典、京浜検診センター50周年記念
 懇親会・・・都筑区社会福祉協議会総会・懇親会、センター北商業振興会総会・懇親会
 会費・・・都筑区懇話会、警察官友の会、センター北商業振興会、神奈川県社会保険協会、牛久保西町内会、横浜北地区産業保健推進連絡協議会、都筑区社会福祉協議会
 慶弔・・・医療協40周年生花、内藤哲夫氏(元横浜市医師会長) 供花・香典

備品購入・修繕

プロジェクター@会議室	リースで入れ替え
MAXHUB@理事長室	リースで新規導入
事務局用iPad 2台	購入
Google Work Space	9ライセンス契約
Microsoft365	7ライセンス契約(計13ライセンス)

収益事業

他1 休日診

都筑区医師会では、地域住民に安心していただける質の高い医療を提供し、生命と健康を守るため、緊急医療を確保することを目的としている
 一次救急として、翌日にはかかりつけの医療機関を受診してもらうまでの一時的な対処療法や応急処置等を施す施設である 入院治療等の必要がある場合には近隣病院へ紹介できる体制を整えている

都筑区休日急患診療所事業

都筑区休日急患診療所の運営及び診療業務に関すること

1) 診察日数 71日 2) 出勤医 232人(延べ) 3) 患者数 3,361人(延べ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	70	170	28	268	169	101	61	128	234	360	103	65	1,757
小児科	58	103	52	243	89	105	75	85	147	210	147	99	1,413
外科	1	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	5
整形外科	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
皮膚科	2	14	3	4	2	4	12	2	6	11	3	1	64
泌尿器科	2	5	2	1	4	3	2	1	3	9	0	0	32
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	3	14	8	4	0	3	3	6	5	16	15	7	84
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
その他	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
合計	137	307	93	522	264	217	155	223	396	607	268	172	3,361
診療日数	5	8	4	6	5	6	6	6	6	8	6	5	71
出勤医数	16	25	13	19	18	19	19	19	21	28	19	16	232

研修会・・・休日診療員おさらいの会 令和4年6月21日（火） @Zoom

地域防災活動に関すること・・・今年度なし

横浜市北部夜間急病センター運営会議に関すること（敬称略）・・・令和4年12月7日（水）19：30～ @横浜市医師会 出席者（都筑区抜粋）：深澤立・相川真吾

都筑区休日急患診療所従事者慰労会に関すること（年1回開催）・・・今年度は開催せず

新型コロナウイルスに関する事業・・・発熱診療・検査業務、医療従事者向けワクチン接種

協賛金・寄付金・・・センター北まつり、ビーコルカップ、つづき夢駅伝、日本盲導犬協会、日本ユニセフ、日本赤十字、国連WFP、トルコシリア地震支援金

他2 在宅事業部門

訪問看護ステーション事業

目標 利用者 200 名+ナーシング利用者（昨年度目標 225 名） ⇒ 結果 202 名+ナーシング利用者平均19名（221 名） 訪問件数 15,000件⇒15,645件 1件単価 10,462 円⇒10,655円

1. サービスの質の向上、職員一人一人の目標達成に向け教育環境を整える

1) 人材育成システムの構築に努め、スタッフの自己成長を目指す

- ① 管理者・主任・リーダーの会議を定期的に行う（週1回短時間、月1回1時間）来年度に向け役割強化に努める ⇒ 結果 看護のみではできなかったが介護の役割者と週1回一体化会議を行い、手順の見直しなどにつながった
- ② 超過勤務の是正 ⇒ 結果 ショートステイなどで空いた時間にナーシングでのケアが入るようになったことで超過勤務時間が増えた
- ③ 医療的コーディネーターがいるステーションとしての役割を認識し、地域との連携に努める ⇒ 結果 地域との連携が図れ、相談件数も増えており、統括拠点の依頼も来ている
- ④ オンライン研修などを定期的に行なう（月1回）部署内での事例検討を行う ⇒ 結果 事例検討ができなかったが、当職員の言語聴覚士と摂食嚥下認定看護師による4回研修を行うことができた

また得意分野を職員一人一人が意識し 慢性心不全、栄養サポートチーム、医療的ケア児者コーディネーター、
看取り士の資格取得することができた

- ⑤ 記録の見直しを行い、記録時間の短縮を目指す ⇒ 結果 記録係が検討し少しずつ移行中
- ⑥ 職員の面接を行う ⇒ 結果 必要に合わせた面接しかなかった

2. 事業所体制を強化し、経営の安定を図る

1) NHとの一体化を強化し、ケアの質の向上に努める

- ① 適切なスタッフの確保 ⇒ 結果 訪問看護ステーション職員がナ～
一体化と来年度の体制変更に向け、非常勤看護師から常勤への変更を検討、訪問件数確保のため理学療法士常勤1名増員する
看護リーダーを担うようになった
また、常勤看護師がナーシングの緊急対応を担うようになった しかしOT一名退職し、非常勤看護師1名入職、
非常勤看護師1名が常勤看護師となった
- ② NHとの一体化を強化し、訪問看護の件数は維持しつつ、NHの利用者数の増加を目指す ⇒ 結果 訪問看護ステーション職員がナーシング活動時間が増えたが目標訪問件数はクリアできた

ヘルパーステーション事業

目標 利用者 720名/年 日動訪問時間 4,935時間/年 時間単価 6,972円、夜間・早朝時間 1,032時間/年 時間単価 10,661円 深夜時間 338時間/年 時間単価12,703円

⇒ 結果 利用者515名/年 日動訪問時間 3,314時間/年 時間単価 8,874円、夜間・早朝時間 586時間/年 時間単価 13,249円、深夜時間 238時間/年 14,850円

ナーシングホームとの業務一体化のため、利用者を減らし訪問時間を減らしたが、単価が高い身体介護のサービスを残し、ベースアップ加算も取得したため、時間単価は増やすことができた

1. ナーシングホームとの一体化をはかり、両事業の経営の安定をめざす	⇒ 結果	令和4年11月より、活動場所も移動し、訪問介護とナーシングホーム業務を担う体制をより一層強化した
1) 現在の職員の維持とナーシングホームとの一体的体制により総合的な黒字をめざす		
① 夜勤1コース、平日遅番2コース、早番日勤の維持により、両事業の夜間早朝訪問の安定をはかる	⇒ 結果	夜勤はナーシングホームの職員1名が加わり維持することができた その他勤務も維持できた
② 訪問介護・ナーシングホーム・訪問看護との相互協力と連携体制による新規依頼の受託強化	⇒ 結果	利用者減らしながらも、内部ケアマネ・訪問看護からの依頼のターミナルケアは受けることができた
③ 特定事業所加算Ⅰを維持し算定要件を維持する	⇒ 結果	特定事業所加算Ⅰを維持することができた
④ 特定処遇改善加算・処遇改善加算、算定要件の維持	⇒ 結果	処遇改善加算等の維持と、新たなベースアップ補助金とベースアップ加算も取得することができた
⑤ 職員の増員と適宜職員の面接を実施	⇒ 結果	職員1名面接し希望により、法人内居宅支援のケアマネに異動 1名減少したが増員することはできなかった 主任1名7月から産休育休をとり3月復帰した
2) サービスの質の向上と維持		
① 主任・リーダー会議と研修参加による、育成の強化	⇒ 結果	主任・リーダー会議はナーシングホームの主任・リーダーも加わり一体化を検討 研修は内部研修と外部身体介護研修参加
② 各勤務帯定期的ミーティングと勉強会の開催により、質の向上をはかる	⇒ 結果	日勤遅番勤務の定期ミーティングは継続できた 夜勤は集合ミーティングの開催はできず、オンライン等利用した

居宅支援センター事業

目標	実績を算定できる利用者 1,488名/年(124名/月：重度者割合50%) (一か月の支援費：軽度者 11,754円/1人、重度者 15,268円/1人)	⇒ 結果	実績を算定できた利用者 1,546名/年 (重度者割合 49%)
	退院連携加算(5,004円×35回/年)、ターミナル加算(4,448円×5回/年)、要支援(4,130円/1人×300名/年)、認定調査(4,950円×20件/年)	⇒ 結果	退院連携加算 35回/年、ターミナル加算 11回/年、要支援者 315名/年、認定調査 80件/年
1. 個々のスキルアップ、サービスの均一化を目指して、研修への参加推奨や事例検討を行う			
1) 個々の研修テーマを決め、ケアマネジメント力の向上に努める	⇒ 結果	個々が希望した研修(癌支援、障害支援、認知症支援等)に参加できた 横浜市医師会主催の病院連携研修に1名参加した	
2) 他法人や包括支援センターとの事例検討会等に参加する(コロナ禍によってはWEB参加)	⇒ 結果	他法人との研修会2回参加(参加1名づつでの対面) 事例検討会は、事例提出を含んで4回参加	
2. 就労状況やライフバランスを考慮し、仕事へのモチベーションが保てる職場環境を整える	⇒ 結果	勤務はほぼ希望通りに調整できた 要望があった備品等も可能な範囲で購入した 有休消化の平均は10日前後だった	
3. より良い居宅支援を行うことにより各種加算を得て経営の安定を図る			
1) 特定事業所加算・Ⅰの算定要件を保つ 《特定加算・Ⅰ》5,615円/1人×1488名=8,355,120円/年	⇒ 結果	人員要件、重度割合要件等を満たし、特定事業所加算・Ⅰが算定できた	
① 法令を遵守し、減算の無い居宅支援を行う			
② 特定加算要件を満たすため、看護支援専門員基礎研修の在宅実習生の受け入れ体制を整える(受け入れ要請があれば)			
③ 加算の人員要件を満たす為、現在の職員体制を維持する			
④ 利用者の重度割合40%以上を維持する			
3) 次年度は医療介護連携加算の算定ができるよう、積極的に医療連携に取り組み 《連携加算》1,390円/1人×1,440名=2,001,600円	⇒ 結果	R4年度の算定要件を満たし、R5年度(4月～)1年間の《連携加算》算定が承認された	
① 退院時の病院訪問による情報共有 年35回以上			
② 癌による自宅死亡を支援するターミナルケア 年5回以上			
4. 地域連携等に貢献し、事業所としての位置を確立する	⇒ 結果	5月に区役所と連携して総会を開催 11月～医療連携研修会を2回開催した	
1) 「ケアネットつづき」の事務機能と連絡業務の中心的役割を果たす			区内で行われる研修会等を周知できたが、ケアネットつづき本部としての活動は行えなかった

福祉用具センター事業

目標	介護保険利用者 876名/年(月間73人) 19,950円/人 ・ 自費レンタル利用者 72名/年(月間6人) 6,673円/人	⇒ 結果	介護保険 551名/年 20,150円 自費 109名 4,201円
1) 福祉用具レンタル・販売業務を継続する	⇒ 結果	令和5年3月末日にて事業撤退となった	
2) 都筑区医師会ナーシングホームおよび訪問看護所有の福祉用具の管理を行う	⇒ 結果	故障・破損などについては報告を受けた後、適宜対応した	
3) 職員に対する福祉用具使用法等についての研修会を実施する	⇒ 結果	研修会の実施は出来なかった	

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業、夜間対応型訪問介護事業(24時間在宅ケアステーション)

目標	夜間対応利用者 108名/年 定期巡回は4月より休止 利用者 0名/年	⇒ 結果	夜間対応利用者数 88名/年 ナーシングホーム一体化のため新規は内部ケアマネ・訪問看護からの依頼のみ受託 コロナ感染拡大以降、他事業所ケアマネからの依頼は少なく、利用者の終了に伴いその分減少した ⇒ 結果 定期巡回は利用者数0名になり、人員不足に伴い、5月より事業休止、11月に事業廃止とした
1. サービスの提供と質の向上			
1) 介護・医療連携推進会議の定期的開催	⇒ 結果	夜間対応型は制度上推進会議の開催の必要なく、実施していない	
2) 訪問看護と計画作成責任者との連携	⇒ 結果	緊急時の対応等連携できた	
2. 収入増加による経営の安定			
1) 訪問介護との兼務による現在の職員を維持する	⇒ 結果	維持できた	
訪問介護・ナーシングホーム・訪問看護との相互協力と連携体制の強化	⇒ 結果	相互協力ができ連携体制がとれた	
サービス提供体制強化加算Ⅰ・算定要件の維持	⇒ 結果	サービス提供強化加算維持できた	
特定処遇改善加算・処遇改善加算・算定要件の維持	⇒ 結果	処遇改善加算等の維持と、新たなベースアップ補助金とベースアップ加算も取得することができた	

看護小規模多機能型居宅介護事業(ナーシングホーム)

目標 登録数 252件/年 (21名/月) 介護保険登録者単価 415,000円/件 医療保険単価 418,000円/件 ⇒ 結果 登録者数 225件/年(18.75名/月) 介護保険登録者単価 554,000円/件 医療保険単価 385,800円/件

1. 他部署と協力し適切な職員の確保と利用者の確保し、事業の継続のために経営の安定を図る

⇒ 結果 令和4年11月より、訪問介護と事務所を一体化した

令和5年1月より、ナーシングホームの看護リーダーとして訪問看護の主任・リーダーが担う体制にした

1) 地域の関係機関や住民への広報活動

⇒ 結果 コロナ禍であること、人手不足であったこともあり、実施できなかった

2) 介護職員の確保(事業所間の協力体制の構築と新規雇用)

⇒ 結果 新規採用(介護職 2名・看護職 2名) 退職者(介護職 2名 看護職 1名) 新規の人員確保はできなかったが、一体化により人員確保を補った

2. 安心して安全な質の高いケアの提供を行う

1) 職員研修プログラムの作成と実施

⇒ 結果 着手できなかった

2) 各種マニュアル整備とケアの均一化

⇒ 結果 「利用者別ケア実施状況」のチェックでケアの均一化を図った

3) 職員の制度の理解を深め、運営方針の共有化

⇒ 結果 看多機制度の研修を行った

3. 地域住民との連携

1) 運営推進会議の開催

⇒ 結果 5/13、8/19、11/11、2/10に開催した

2) 研修会、イベントの企画と実施

⇒ 結果 コロナ禍で実施できなかった

贈会費

神奈川県訪問看護ステーション協議会

ケアネットつづき

つづきケアマネ部会

横浜在宅看護協議会

都筑区訪問看護連絡会

横浜地域ネット24

横浜市小規模多機能連絡会

横浜市都筑区社会福祉協議会